

令和8年度田舎館村 各種がん検診精密検査費用の一部助成について

青森県のがん死亡率が1位の理由、それは、がんが進行してから受診している現状があります。がんの早期発見と早期治療が重要です。

そのためには、がん検診を受け、要精密検査となった場合、放置せず精密検査を受けることが必要です。

村では、がんの死亡率を減少させるため、村の各種がん検診で「要精密検査」となった方が精密検査を受診する費用の一部を助成します。

項 目	内 容
助 成 対 象 者	<p>次の①～③の全てに該当する方</p> <p>①令和8年度田舎館村がん検診で精密検査が必要となった方</p> <p>②①の<u>がん検診受診日から1年以内に初回精密検査を受けた方</u></p> <p>③申請日に村に住所がある方</p>
助 成 額	<p><u>がん1種類につき半額助成(上限3,000円)</u></p> <p>(裏面の精密検査を実施した<u>初回の検査費用</u>が対象です)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院により精密検査を実施した場合や、同時に治療を行った場合を含みます。 ・精密検査に付随する事前の問診や採血、結果説明等の診療行為を含みます。
助 成 方 法	償還払い(助成金を口座に振込します)
申 請 書 類 先	<p>①田舎館村各種がん検診精密検査料助成金交付申請書 (厚生課健康推進係にあります)</p> <p>②精密検査に係る領収書の原本</p> <p>③<u>検査方法が記載されているもの(診療明細書等)の原本</u></p> <p>④振込みを希望する口座の通帳又はキャッシュカード</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <p>厚生課 健康推進係の 窓口へ提出</p> </div>
申 請 期 限	村のがん検診を受診した日から1年以内

担当:田舎館村 厚生課健康推進係
電話 58-2111(152・153)

精密検査の方法一覧

○胃の精密検査

胃内視鏡検査 (胃カメラ)	胃の中を内視鏡で直接観察する検査です。麻酔や胃の動きを抑える注射をして、内視鏡を口や鼻から挿入します。 必要に応じて、細胞を採る検査をすることがあります。
------------------	--

○大腸の精密検査

全大腸内視鏡検査 (大腸カメラ) ※第一選択	大腸すべてを内視鏡で観察する方法です。事前に下剤を服用し、肛門から内視鏡を挿入し検査します。
S状結腸内視鏡検査 注腸エックス線検査	事前に下剤を服用し、肛門からチューブを挿入してバリウムと空気を注入し、大腸のエックス線写真を撮影します

*便潜血検査の再検は精密検査とみなされません。

○肺の精密検査

胸部CT検査	CTスキャナーと呼ばれる検査装置の寝台に横になり、胸部のエックス線写真を撮影します。
気管支鏡検査	気管支鏡を口から気管支に挿入して、直接観察します。必要に応じて細胞を採る検査をすることがあります。

*喀痰細胞診要精検者に対する喀痰細胞診の再検は精密検査とみなされません。

○乳房の精密検査

マンモグラフィの 追加撮影	詳しく観察するため、多方向から撮影します。
乳房超音波検査 (エコー検査)	超音波により詳しく観察します。
MRI	寝台に横になり、強力な磁石でできた筒の中で、磁気を利用して撮影する検査です。
穿刺吸引細胞診、 針生検	しこりなど疑わしい病変が見つかった場合、細い注射針を刺して中の細胞や組織を採取して調べます。

○子宮の精密検査

コルポスコープ下の 組織診や細胞診 HPV検査	コルポスコープとは、子宮頸部の粘膜表面を拡大し、細かい部分を観察できる医療器械です。観察と同時に粘膜の組織を採取して検査します。 疑わしい部分から組織を採り、標本をつくって顕微鏡で診断します。
-------------------------------	---